

世界史B 10 ドイツ帝国の建設

1,ドイツの統一

1862年 9月プロイセン議会は軍備拡張予算を否決

ヴィルヘルム1世(ホーエンツォレルン家)→[]1❖aをプロイセン王国首相に
「ドイツ統一の大問題は鉄=()2と血=()3によってのみ解決される」
→「鉄血政策」 「鉄血宰相」 ⇒力によるドイツ統一実現をめざす

┌ドイツ関税同盟(1834年結成)⇒ドイツ産業革命を推進

└()4地方=豊富な地下資源とライン河の物流=の工業力・経済力

└()5路線=プロイセン伝統の軍事力を強化⇒新式の野砲やドライゼ銃❖b

❖a--1815~98年。大地主の貴族=()6出身。1849年プロイセン下院議員。ロシア公使、フランス大使。1862~90プロイセン王国首相。1871~90ドイツ帝国宰相。

❖b--世界初の()7式軍用ライフル。従来の燧石式前装(先込め)式の銃の数倍の連発速度。

1864年 ()8戦争オーストリアとともにシュレスヴィヒ・ホルシュタイン❖cを奪う

1866年 ()9戦争 両地域の管理をめぐるオーストリアとの戦い

新鋭の兵器により七週間で圧勝。鉄道網と()10設備を重視し整備。
シュレスヴィヒ・ホルシュタイン公国などをプロイセンに併合→ドイツ連邦解体

❖c--二つの公国。1058~1866年、1474~1866年まで存続しデンマーク王家に属した。

1867年 ()11連邦=22の領邦の連合=成立

プロイセンの軍国主義をきらうバイエルンなどの()12諸国は対立

1870年 ()13戦争(~71) スペイン王位継承問題❖d→ナポレオン3世を挑発❖e

┌7月19日ナポレオン3世はプロイセンに宣戦布告 西南ドイツ諸国⇒プロイセン側に

└9月2日セダンの戦いでナポレオン3世は10万のフランス兵とともに降伏

└フランスは第三共和制となり戦争継続。ドイツ軍は進軍しパリを包囲

❖d--1868年スペインで武装蜂起により女王イザベル2世はフランスへ亡命。1869年普通選挙、憲法制定。立憲王政となる。新国王をめぐるフランスとプロイセンが対立。

❖e--()14電報事件。ヴィルヘルム1世からの電報をフランスがプロイセンを侮辱したようにビスマルクが改ざんして公表し、両国民の戦意を煽る。

2,ドイツ帝国(第二帝国1871~1918)成立

1871年 ヴィルヘルム1世、[]15宮殿でドイツ皇帝(位1871~88)に即位

・4つの王国、22の大公国、3つの自由都市を統一 →連邦制国家

・フランスからアルザス=ロレーヌ(エルザス=ロートリンゲン)割譲 ---地下資源

・()16金50億フラン ・度量衡の統一

・「ドイツ帝国憲法 ❖f」 発布---欽定憲法

┌ドイツ皇帝=プロイセン王の世襲--議会の召集・解散 ⇒軍()17権と「非常()18」

└ドイツ宰相=プロイセン宰相⇒皇帝が任免⇒議会に責任を負わない。大臣を任命。

└参議院 ---各邦の代表

└帝国議会---成人男子の普通選挙 法案提出・同意⇒()19に対し責任
→外見的立憲主義 将校と官僚は()20が独占

❖f---明治維新後の1889年発布される「大日本帝国憲法」のモデルとされる。

1879. 保護関税法 重化学工業とユンカーを結合⇒「()21と穀物の同盟」

→工業発展。20世紀初め()22を追い越す

対立 ┌中央党---西南ドイツの[]23勢力

→()24闘争---カトリック、ポーランド人などへの差別的拘束(説教壇法など)と圧迫

└ドイツ社会主義労働者党---1875年統一。マルクス、ラサールの影響。

┌ラサール(1825~64)の流れをひく社会主義団体 と

└ベーベル(1840~1913)の指導するマルクス派の組織 が合同

┌弾圧立法--1878年「社会主義者()25法」社会主義的な集会、結社、出版を禁止。

└災害保険法の制定など一連の()26保障政策を実施→労働者の宥和・懐柔

帝国宰相ビスマルク(任1871~90)の外交

┌「三B政策」 ベルリン~ビザンティン~[]27

└三帝同盟(1872年) 独=ホーエンツォレルン家・奥=ハプスブルグ家・露=ロマノフ家

→()28問題で対立

└三国同盟(1882年) 独・奥・()29

1887年 ()30との再保障条約 →[]31の包囲・孤立化を目指す。

植民政策

1880年代からアフリカや太平洋での植民地獲得にのりだす

1884年「ドイツ植民会社」ペーテルス(1856~1918)が設立。

┌原住民族長と私的協定を結ぶ。 →アフリカ、南洋諸島。

└国内での民衆の不満を対外膨張政策で外に向ける

()32 2世(位1888~1918年)、29歳で即位→1890年ビスマルク辞任

┌より積極的な対外膨張「()33政策」

└大規模な艦隊建設を推進→()34競争 目的---「世界の強国」 手段---「艦隊」

⇒イギリスと対立

1890年 社会主義者鎮圧法撤廃→社会主義労働者党→ドイツ[]35党

┌社会民主党が急速に勢力を拡大⇒1912年帝国議会の「()36」

└漸進的な社会改良をめざすベルンシュタイン(1850~1932)らの()37主義路線

オーストリア

18世紀後半啓蒙専制体制(マリア=テレジア(大公位1740~80)ヨーゼフ2世(位1765~90))下の改革

┌全国に義務制の()38設置。各地域の言語による教育。

└一般徴兵制の採用→全国民に無差別の兵役義務。

└[]39解放(1781)---土地の付与なし

1867年 「アウグスライヒ(妥協)」⇒()40王国を承認し対等な連合

⇒「オーストリア=ハンガリー二重帝国(1867~1918)」

→「汎()41主義」を掲げてバルカン半島スラブ諸国への侵略を追求。



ビスマルク



ナポレオン3世とビスマルク



ヴィルヘルム2世



ベルンシュタイン

- ・鉄
- ・大権
- ・統帥
- ・軍拡
- ・電信
- ・大砲
- ・兵士
- ・賠償
- ・普仏
- ・普奥
- ・建艦
- ・後装
- ・文化
- ・修正
- ・鎮圧
- ・会社
- ・世界
- ・皇帝
- ・3B
- ・第一党
- ・小学校
- ・エムス
- ・ライン
- ・ロシア
- ・イギリス
- ・イタリア
- ・バルカン
- ・ユンカー(2)
- ・北ドイツ
- ・ゲルマン
- ・西南ドイツ
- ・デンマーク
- ・ハンガリー
- ・ヴィルヘルム